

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【公開番号】特開2007-196904(P2007-196904A)

【公開日】平成19年8月9日(2007.8.9)

【年通号数】公開・登録公報2007-030

【出願番号】特願2006-19312(P2006-19312)

【国際特許分類】

B 6 0 K 7/00 (2006.01)

B 6 0 G 3/20 (2006.01)

B 6 0 G 7/02 (2006.01)

B 6 0 L 15/00 (2006.01)

【F I】

B 6 0 K 7/00

B 6 0 G 3/20

B 6 0 G 7/02

B 6 0 L 15/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月7日(2008.7.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車輪に駆動力を付与する回転電機と、

前記回転電機を収納する筐体であって、前記車輪を回転自在に支持する回転支持部材と

、
前記回転支持部材の車体側への取付部と前記回転支持部材との間に設けられる制振部材
とを含む、インホイールモータ。

【請求項 2】

前記制振部材は、車両の加速時および減速時の前記回転電機のトルク反力に基づいて発生する振動のうち予め定められた周波数帯の振動を抑制する、請求項 1 に記載のインホイールモータ。

【請求項 3】

前記予め定められた周波数帯は、前記取付部よりも車体側に設けられる制振部材が抑制する振動の周波数帯よりも高い周波数帯である、請求項 2 に記載のインホイールモータ。

【請求項 4】

前記制振部材は、前記取付部において鉛直線が通る位置から車両の前後方向に所定量オフセットした位置にそれぞれ設けられる、請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載のインホイールモータ。

【請求項 5】

前記車輪は、操舵時に前記車輪が操舵方向に向くように回転する操舵輪であって、

前記回転支持部材には、前記取付部を介して前記車体を懸架するサスアームが設けられ

、
前記取付部は、前記車体に対して前記車輪が前記操舵方向に回転自在になるように前記
回転支持部材を支持し、かつ、前記車体に対して前記車輪が上下方向に揺動自在になるよ

うに前記回転支持部材を支持する、請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載のインホイールモータ。

【請求項 6】

前記取付部は、ボールジョイントである、請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載のインホイールモータ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

ボールスタッド 150 は、ねじ山部 158 側を紙面上方向に向けて、ボールジョイントソケット部 130 の下方向から受け皿 156 が形成される開口部を貫通するようにして組付けられる。ボールスタッド 150 のボール部 154 とボールジョイントソケット部 130 の受け皿 156 との間には、グリスが充填される。また、ボールスタッド 150 の軸回りの、ボールジョイントソケット部 130 との間隙はダストブーツ 152 により覆われる。なお、ボールジョイント 108 の構造は、ボールジョイント 106 の構造と同様の構造である。そのため、詳細な説明は繰り返さない。